

福岡和白病院で下肢CT検査を受診された患者様へ

当院心臓血管外科では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんのでご安心ください。またご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。

この研究は当院の臨床研究審査委員会の審査を経て、病院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	日本人における前副伏在静脈の解剖学的検討
当院の研究責任者(所属)	血管外科・血管内治療部 手島英一
本研究の目的	前副伏在静脈(Anterior accessory saphenous vein :AASV)は大腿部を中心に下肢静脈の灌流において重要な役割を担っている静脈ですが、日本人における解剖学特徴は先行研究がありません。体格に恵まれている欧米人と比較し血管が短い、皮膚からの距離が浅いことが予測される、海外と同じ適応で手術を行うと合併症を起こす可能性が高くなると考えます。本研究にて解明することが安全な血管内治療の導入を行う上で必須と判断しました。
調査データ該当期間	倫理委員会承認後から2030年12月31日までの期間
研究方法	●調査の対象となる患者様 上記期間に当院で下肢CTを施行された患者様 <カルテに記載のある診療情報> 研究対象者について、下記の臨床情報を診療録より取得する。 1. 臨床所見(年齢、性別、身長、体重、出産歴) 2. CT所見における静脈の長さ、皮膚からの距離
個人情報の取り扱い	収集したデータは、誰のデータか分からなくした(匿名化といいます)上で、統計的処理を行います。 国が定めた倫理指針(「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」)に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表(学会や論文等)に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究は資金を必要としない。なお、本研究を実施するにあたり、研究の結果及びその解釈に影響を及ぼすような利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	福岡和白病院 心臓血管外科 電話:092-608-0001(代表) 研究責任者:手島英一